

1 単元について

対 象 学 年	小学校 第6学年
学 習 指 導 要 領	第5学年及び第6学年の内容 B書くこと(1)イ、ウ、オ 言語事項(1)オ(ア)
単 元 名	「これがわたしの『みがき』(総合的な学習の時間) ～みがきガイドブックをつくろう～」(全6時間)
単 元 目 標	<p>力いっぱい取り組んでいる「みがき」のことを家族によく分かってもらうために、書く必要のある事柄を選んだり、構成を工夫したりして、効果的に書こうとすることができる。(国語への関心・意欲・態度)</p> <p>限られたページ数で伝えたいことを家族に明確に伝えるために、全体を見通して書く必要のある事柄を選び、構成を工夫することができる。(書く能力)</p> <p>伝えたいことを家族に明確に伝えるために、読み手への効果を考え、全体の構成やページごとの構成を工夫して書くことができる。(書く能力)</p> <p>事柄の選び方や構成の効果について確かめたり、さらに工夫したりすることができる。(書く能力)</p> <p>文章にはいろいろな構成があることを知り、自分なりの根拠をもって活用することができる。(言語についての知識・理解・技能)</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 個の学習状況に応じた多様な指導方法の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く事柄を選ぶこと、構成を考えること、書き進めることの各過程における個の学習進度や到達度を予想し、一人一人に応じた助言を単位時間ごとに明確にする。 <p>一人一人のよさや進歩の状況の評価結果を学習活動に生かす指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックを作る過程に沿って、書く事柄の選び方や構成の工夫に対する毎時間の自己評価を記入する「見通し・ふり返りカード」を用いることによって、単元及び単位時間における自己の高まりを意識しながら学習活動に取り組むことができるようにする。 <p>【言語活動】 経験したことを読み手に紹介し、案内に役立てる「ガイドブック」を作る。</p> <p>【言語意識】</p> <ul style="list-style-type: none"> (相手) 「みがき」のことをよく知らない(見たことがない)家族に (目的) 「みがき」でぜひ知ってほしいことを伝えるために (場面・状況) 「みがき」の授業参観日で (方法) 4ページで作り、読んでもらう「ガイドブック」で (評価) 伝えたいことを明確に伝えるために、書く事柄の選択や構成が工夫できたか、自己評価と読み手の反応で評価する。
参 考 資 料	資料1：第1～6時の見通し・ふり返りカード・・・単元の学習の進め方と高めたい力や学び方を確かめ、自己の高まりを知るために使用

2 単元の評価規準

	ア 国語への関心 ・意欲・態度	ウ 書く能力	オ 言語についての知識・理解 ・技能
内容のまとめりごとの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、書く必要のある事柄を整理したり、文章全体の組立てを工夫したりして、効果的に書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書いている。 全体を見通して、書く必要のある事柄を整理している。 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の組立ての効果を考えている。 事象と感想、意見などを区別して書いている。 目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりしている。 表現の効果などについて確かめたり工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書いている。 送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。 表現するために必要な語句について、辞書を利用して調べる習慣を付けている。 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解し、活用している。 日常よく使われている敬語の使い方に慣れている。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 力いっぱい取り組んでいる「みがき」のことを家族によく分かってもらうために、書く必要のある事柄を選んだり、構成を工夫したりして、効果的に書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 伝えたいことを家族に明確に伝えるために、全体を見通して書く必要のある事柄を選んでいる。 伝えたいことを家族に明確に伝えるために、読み手への効果を考え、全体の構成やページごとの構成を工夫している。 事柄の選び方や構成の効果について確かめたり、さらに工夫したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章にはいろいろな構成があることを知り、自分なりの根拠をもって活用している。
単位時間における具体の評価規準	<p>力いっぱい取り組んでいる「みがき」のことを家族によく分かってもらおうと、伝えたいことをたくさん書き出そうとしている。</p> <p>家族に伝えたいことを明確に伝えるために、事柄の選び方と構成の仕方の工夫を見付け、自分に取り入れようとしている。</p>	<p>ページの順番とレイアウトから、読み手に明確に伝えるための書く事柄の選び方と構成の工夫を見付けている。</p> <p>家族の疑問やつぶやき、行動、ガイドブックを見たときに抱く思いなどを想定して見出しを作り、全体のページの構成をしている。</p> <p>家族の疑問やつぶやき、行動、ガイドブックを見たときに抱く思いなどを想定し、伝えたいことを明確に伝えるためのレイアウトの効果を考えて書いている。</p> <p>事柄の選び方や構成の効果について考えた自分のよさを確かめたり、仲間のよさを取り入れて工夫したりしている。</p>	<p>伝えたいことを明確に伝えるためのいろいろな構成に気付き、書き出している。</p>

3 指導と評価の計画 < 全 6 時間 >

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準	評価方法	指導・援助								
1	6年生の「みがき」を家族に知ってもらうことに役立つガイドブックを作ることを決め、伝えたいことを考えることができる。	<p>6年生で取り組んでいる「みがき」のことを、家族に知ってもらうことを知る。</p> <p>市販されているガイドブックを見る。</p> <p>家族に利用してもらうガイドブックを作ることを決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ガイドブックに書きたいことを考えよう。</p> </div> <p>「みがき」で心に残っていること、ぜひ伝えたいことを出し合い、ガイドブックに載せられそうなことを考える。</p>	<p><ア - > 力いっぱい取り組んでいる「みがき」のことを家族によく分かってもらおうと、伝えたいことをたくさん書き出そうとしている。</p>	<p>ノート ノートに伝えたいことを書き出そうとしているか評価する。 見通し・ふり返しカード 1時間の学習を自己評価する。</p>	<p>「みがき」とはどんな学習か、自分はどんなことをしているのか、どこで活動しているのかなどの観点で児童の考えを整理することによって、伝えたいことを想起できるようにする。</p> <p>家族の立場に立ち、「みがき」を参観に来た場合、どんな情報があるとよいか考えるよう助言する。</p>								
2	ガイドブックのもととなる本を作り、例となるガイドブックや資料集を見ることで、事柄の選び方と構成の仕方の工夫を見付け、自分のガイドブックに取り入れようことができる。	<p>4ページのガイドブックのもととなる本を作る。</p> <table border="1" style="margin: 10px 0;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">見開き</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">P 1</td> <td style="text-align: center;">P 2</td> <td style="text-align: center;">P 3</td> <td style="text-align: center;">P 4</td> </tr> </table> <p>左のようにつなげた紙を折り製本する。</p> <p>活動と活動場所を紹介する市販のガイドブックや資料集を見る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ガイドブックづくりの工夫を見つけよう。</p> </div> <p>市販のガイドブックや資料集から、どこにどんなことが書かれているのか確かめ、工夫を見付ける。</p> <p>「取材・選材」「構成」の観点から、本</p>	見開き				P 1	P 2	P 3	P 4	<p><ウ - > ページの順番とレイアウトから、読み手に明確に伝えるための書く事柄の選び方と構成の工夫を見付けている。</p> <p><ア - ></p>	<p>観察 活動の様子から書く事柄の選び方と構成の工夫を見付けているか評価する。</p> <p>観察</p>	<p>4ページで作ることを理解する中で、事柄の選び方と構成の仕方の工夫に目を向けることができるよう助言する。</p> <p>初めてその場所へ行ったり様子を知ろうとしたりする時に使うという読み手の立場に気付けさせ、市販のガイドブック等から工夫を見付けられるようにする。</p> <p>「取材・選材」「構</p>
見開き													
P 1	P 2	P 3	P 4										

		単元で高めたい自分のめあてをもつ。	家族に伝えたいことを明確に伝えるために、事柄の選び方と構成の仕方の工夫を見付け、自分に取り入れようとしている。	めあてから見付けた工夫を取り入れようとしているか評価する。 見通し・ふり返りカード 1時間の学習を自己評価する。	成」の観点でガイドブックの特性を整理し、めあてを考えることができるようにする。
3 (本時)	家族に伝えたいことを明確に伝えるために、ガイドブックを利用する家族の立場に立って必要な事柄を選んで見出しを作り、全体のページを見通して構成することができる。	書こうとする事柄を考えて見出しを書いたカードを作り、ページごとに配置する。 見出しをページに配置したわけを話す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">読み手によく分かるように、書くこととページを考えて見出しをつけよう。</div> 伝えたいことが家族によく分かるように4ページのガイドブックのどこにどんな事柄を書くか考えて見出しのカードを作り、ページに貼り付ける。 見出しをページごとに貼り付けたわけを交流し、家族の立場に立って全体の構成を工夫している自分や仲間のよさを見付ける。	<ウ - > 家族の疑問やつぶやき、行動、ガイドブックを見たときに抱く思いなどを想定して見出しを作り、全体のページの構成をしている。	ガイドブック 発言と見出しの分析 発言と見出しから、読み手を想定して見出しを作り、構成をしているか評価する。 見通し・ふり返りカード 1時間の学習を自己評価する。	見出しとそれをページごとに配置したわけを問い、相手と目的を根拠にして事柄を選んで構成している児童を価値付ける。 みがきのことを全く知らない家族になったつもりで読み返すように助言し、読み手の言動を想定して書いたり、1ページ目、見開きのページ等、ページの特性を踏まえて、書く事柄や材料を考えたりする児童を価値付ける。 児童の文章から観点到に沿ってよさを取り出し、価値付ける。
4・5	家族に伝えたいことを明確に伝えるために、読み手の立場に立ち、それぞれのページごとに必要な事柄と構成を工夫したレイアウトを考えてガイドブックに書くことができる。	児童のこれまでの作品と市販のガイドブックをもとに、レイアウトのよさを発表し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">読み手によく伝わるように、ページごとのレイアウトを考えてガイドブックを作ろう。</div> 「みがき」の記録や写真を見ながらレイアウトを考えて書く。 レイアウトの工夫とそのわけを交流し、家族の立場に立って必要な事柄を選び、分かりやすさや見やすさを考えて書いた	<ウ - > 家族の疑問やつぶやき、行動、ガイドブックを見たときに	ガイドブックの記述 観察 記述の内容に、読み手を想定しレ	「みがき」の学習の様子や作品の写真は、必要に応じて事前に準備する。みがきのことを全く知らないおうちの人になったつもりで読み返すことを助言し、レイアウトの効果に気付

	自分や仲間のよさを見付ける。	抱く思いなどを想定し、伝えたいことを明確に伝えるためのレイアウトの効果を考えて書いている。	アウトの効果を考えて書いている。 見通し・ふり返りカード 1時間の学習を自己評価する。	くよう助言する。 正しく分かりやすく伝えるために、辞書や参考図書などを活用する児童、図や写真を使う児童を価値付ける。
--	----------------	---	---	---

みがきガイドブックを家族に届け、それを読んだり、あるいはそれを持って参観したりした感想を手紙に書いていただく。

6	<p>家族に伝えたいことを明確に伝えるためには、いろいろな事柄の選び方や構成の仕方があり、それらを工夫すると大切であると気付くことができる。</p>	<p>家族の感想を読み、家族に伝わったことやうれしかったことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分や仲間のガイドブックのすばらしさを見つけよう。</p> </div> <p>なぜ家族の役に立ったのかや、伝えたいことが明確に伝わったのかについて、「書く事柄の選び方」と「構成の工夫」の観点で整理する。</p> <p>整理したことをカードに書く。</p> <p>めあてに対して自己評価する。</p>	<p><ウ - > 事柄の選び方や構成の効果について考えた自分のよさを確かめたり、仲間のよさを取り入れて工夫したりしている。</p> <p><オ - > 伝えたいことを明確に伝えるためのいろいろな構成に気付き、書き出している。</p>	<p>観察 活動の様子から、自分のよさを確かめ、仲間のよさを取り入れ工夫しているか評価する。</p> <p>観察 カードに、いろいろな構成に気付き書き出しているか評価する。 見通し・ふり返りカード 1時間の学習を自己評価する。</p>	<p>家族のうれしそうな反応を紹介する。</p> <p>書く事柄の選び方、構成の効果を整理する。 それぞれの構成のわけを問い、伝えたいことを相手に明確に伝える効果的な構成の仕方を整理できるようにする。 同じ目的でもいろいろな構成があることや、新たな構成があることに気付いた児童を価値付け、紹介する。 相手と目的を根拠に事柄を選んだり構成を考えたりしたことを確かめられるようにする。</p> <p>取材・選材と、構成の工夫から次のめあてを考えている児童を価値付ける。</p>
---	--	---	---	---	--

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のねらい

- ・ 家族に伝えたいことを明確に伝えるために、ガイドブックを利用する家族の立場に立って必要な事柄を選んで見出しを作り、全体のページを見通して構成することができる。

(2) 本時の位置

3 / 6 時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	形態	評価について	指導・援助
導入	<p>書こうとする事柄を考えて見出しを作り、ページごとに配置する。</p> <p>見出しをページに配置したわけを話す。</p> <p><わけの例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族は6年生の「みがき」がどんな学習なのかをよく知らないから、まず、「みがき」とはどんな学習なのかを1ページ目を書く。次に一番知らせたことである、私はどこでどんなことをしているのかを、見開きを利用して地図上に詳しく書く。最後には、これからどんなことをできるようにになりたいと思っているのかを書く。 	個人 個人 学級全体		<p>「みがき」のことをよく知らない家族が、ガイドブックを手がかりに知ることを理解させ、相手と目的、意図を確かめることができるようにする。</p> <p>見出しとそれをページごとに置いたわけを問い、相手と目的を根拠にして事柄を選んで構成している児童を価値付け、課題意識をもつことができるようにする。</p> <p>見出しにする事柄に戸惑う児童には、板書に位置付けた仲間の考えを示したり、どんなことをしているのか助言したりすることで、書く事柄を具体的にできるようにする。</p>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>読み手によく分かるように、書くこととページを考えて見出しをつけよう。</p> </div> <p>伝えたいことが家族によく分かるように4ページのガイドブックのどこにどんな事柄を書くか考えて見出しのカードを作り、ページに貼り付ける。</p> <p>「みがき」のことを知らない家族に自分の「みがき」を知ってもらうために (「みがき」の説明) 6年生の「みがき」ではどんなことをしているのか。 (自分は「みがき」でどんなことをしているのか) 編み物で、たくさんある編み方を組み合わせながら、しかし基本を大切に作品づくりに取り組んでいる。 (これからの「みがき」で挑みたいこと) 基本をいつも大切にしながら、お年寄りのようなもっと難しい編み物の作品づくりをする。</p> <p>将棋を知らない家族に将棋の難しさを伝えるために (全体に関わる説明) 将棋をしている場所とルール。 (難しさ) 将棋の試合中、自分がしたこととお年寄りが話したこと。 (今後の願い) 一度も勝つことができず、今度こそ勝ちたいと願っていること。</p>	個人	<ウ - > 家族の疑問やつぶやき、行動、ガイドブックを見たときに抱く思いなどを想定して見出しを作り、全体のページの構成をしている。 ・ガイドブック ・発言と見出しの分析 発言と見出しから、読み手を想定して見出しを作り、構成をしているか評価する。	<p>みがきのことを全く知らない家族になったつもりで読み返すよう助言し、読み手の言動を想定して書いたり、1ページ目、見開きのページ等、ページの特性を踏まえて、書く事柄や材料を考えたりする児童を価値付ける。</p> <p>よさを具体的にとらえることができるよう、具体的な児童の文章をもとによさの観点に位置付け、価値付ける。</p>
終末	<p>見出しをページごとに貼り付けたわけを交流し、家族の立場に立って全体の構成を工夫している自分や仲間のよさを見付ける。</p> <p><よさの観点の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族は学校へ入ってきてまずどこでやっているのかを知りたいだろうから、1ページ目にはどこでやっているのかを書く。 ・ 家族は「みがき」がどんな学習なのかをよく知らないだろうから、まず「みがき」の説明をする。 ・ こんなことができるようになってきたということをよく知ってほしいから、見開きのページを使って書く。 	個人 ペア 学級全体	・見通し・ふり 返りカード 1時間の学習を自己評価する。	<p>児童の文章から観点到に沿ってよさを取り出し、価値付ける。</p> <p>次時にページの内容を書くことを知らせ、記録ノートや写真等、必要な材料を集めることを方向付ける。</p>

5 評価の実際と個に応じた指導事例

(1) 本時重点的に取り上げた評価規準

<ウ - >

家族の疑問やつぶやき、行動、ガイドブックを見たときに抱く思いなどを想定して見出しを作り、全体のページの構成をしている。

(2) 評価の実際

【評価方法】 ガイドブック、発言と見出しの析

【判断した児童の状況例】

- ・「みがき」でどんなことをしているかよく分かってもらえるようにという理由をもって見出しを書き、貼り付けている児童については、「おおむね満足できる状況」にあると判断した。
- ・見出しを書くことができない、あるいは貼ることができない児童については、「努力を要する状況」にあると判断した。この要因としては、
 - 「相手と目的に対する意識の弱さ」
 - 「伝えたいことを整理できないこと」が考えられる。

(3) 個に応じた指導の実際

- ・「相手と目的に対する意識の弱さ」が要因と考えられる児童に対しては、机間指導で、「誰に渡すのか」「お母さんは君の活動についてどんなことを知っているのか」を問いかけながら、見出しに書くことを具体的にしていっていった。児童は、お母さんがよく分からないことを考えて書くことよいに気づき、「みがきって何?」「ゲートボールって何?」「道具とルール」「先生」と見出しを書くことができた。
- ・「伝えたいことを整理できないこと」が要因と考えられる児童に対しては、机間指導で、板書に位置付けた仲間の考えを示しながら、「まずどんなことを知らせる必要があるのか」「一番知ってほしいことはどんなことなのか」と問いかけ、どのページに何を書くかを考えることができるようにした。児童は、読み手がページをめくりながら「みがき」を参観する様子を想像し、「みがきはどんな学習なのかということと、活動場所を始めに書く。真ん中のページには一番知ってほしい『工作』のことを詳しく書いて、最後にこれからやってみたいことを書く。」と話し、見出しを貼った。